

平成19年度事業計画案

I 総務・渉外

1. 年間目標

- 1) 雑誌価格高騰へ対応
雑誌委員会と協力し、交渉力を強化する。
- 2) 医学図書館員教育の強化
教育・研究委員会と協力し、医学図書館基礎研修会のテキストを作成する。
単位の研修会の検討などを行って医学図書館員の基礎能力の向上を図る共に、主任医学図書館員に対してはマネジメント力向上などの研修を検討する。
- 3) 認定資格制度の促進
認定資格運営委員会と協力し、申請者の推進や認定制度の見直しについて協力を行う。
- 4) 受託事業の推進
財政面を補うと共に NPO 法人としての公共的役割として診療ガイドライン作成対策委員会を組織して受託事業を推進する。
- 5) 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の推進
国立ライフサイエンス情報センター（仮称）推進準備委員会と共に、関連団体連携を深めていく。
- 6) 会員の入会促進
引き続き会員の入会促進を図る。
- 7) 日本薬学図書館協議会（JPLA）との連携
電子ジャーナルコンソーシアム、磁気テープの共同購入など連携による会員メリットを促進する。
- 8) 国際交流の推進
NPO 法人の立場として国際交流を推進する。
- 9) その他

2. 総務会の開催

総務会を年間6回以上開催し、キメ細かな検討・活動を行う。

II 広報

1. 年間目標

- 1) NPO 法人日本医学図書館協会（JMLA）の諸事業、各委員会・地区会活動の会員への報告
- 2) JMLA の各活動の会員外への宣伝
- 3) 総務・渉外担当理事との連携
- 4) JMLA ホームページの管理
- 5) 地区会からの情報の伝達
- 6) 関連団体との情報交換

III 組織・制度

1. 年間目標

当委員会は、理事会から付託される事項について審議及び答申することが主な活動内容となる。その他、平成18年度以前から検討課題としているものの審議未了となっている下記事項について、理事会の方針確認のもとで取り上げる。

- 1) NP0 法人としての総会運営方法の検討
 - 2) 協力会員制度のあり方についての検討
 - ①制度見直しの必要性や各方面の意見を調査、検討する。(第 78 回総会終了後、平成 19 年中に)
 - ②制度改正案を作成して理事会に提案する。(平成 20 年 3～4 月開催の理事会までに)
 - 3) 理事会から付託される事項の検討
 - ①付託時期、必要とされる時期に従って検討し、適宜、理事会に提案する。
- 以上、委員会を平成 19 年夏から平成 20 年 3 月のあいだに 3～4 回開催する。

IV 企画・調査

1. 委員会開催
 - ・平成 19 年 6 月 年間事業計画の確認と実施項目の調整及び要覧編集会議
 - ・11 月あるいは 12 月 実施事業の見直し
 - ・3 月 前回委員会の見直しを受けた次年度事業計画の策定
2. 年間目標
 - 1) 第 78 次加盟館統計(平成 18 年度)
 - ・6 月にデータ提出依頼
 - ・9 月に発行(データ版をホームページに掲載)
 - 2) 第 58 回重複雑誌交換事業
 - ・7 月にデータ提出依頼
 - ・10 月に交換用リスト発送
 - ・1 月に報告書提出
 - ・外部業務委託を中止し委員会が編集して編集費を削減するとともにデータの購入費を無料にする。
 - 3) 要覧 2007
 - ・5 月に原稿提出依頼
 - ・8 月に発行
 - ・会員には 1 部無料、追加購入は、会員は 1 部 1,000 円、会員外は 1 部 3,000 円とする。
 - ・ホームページ掲載事項と「要覧」掲載事項について調整を図る。
 - 4) その他
 - ・会長または理事会の発議に基づき、計画・実行

V 教育・研究

1. 年間目標
 - 1) 第 78 回総会・分科会(平成 19 年 5 月 31 日～6 月 1 日 さいたま市・大宮ソニックシティ)
 - ・総会組織委員会が準備、運営する。教育・研究委員会は総会組織実行委員会と連絡をとりながら援助、協力する
 - 2) 第 14 回医学図書館員基礎研修会(事務局：岡山大学附属図書館鹿田分館)
日本薬学図書館協議会協賛
 - 期 日：平成 19 年 8 月 1 日(水)～3 日(金)
 - 会 場：岡山大学鹿田キャンパス 医学資料室・研究棟ほか
 - テーマ：学術情報のマネジメント力をつける
 - ・実行委員会が準備、運営する。教育・研究委員会は実行委員会と連絡を取りながら援助、協力する

- 3) 第14回医学図書館研究会・継続教育コース（事務局：信州大学附属図書館医学部図書館）
日本薬学図書館協議会協賛
期 日：平成19年8月22日(水)～8月24日(金)
会 場：信州大学
テーマ：医歯薬図書館では今 ―そのニーズを知る―
・実行委員会が準備、運営する。教育・研究委員会は実行委員会と連絡を取りながら援助、協力する
- 4) INFOPRO2007 第4回情報プロフェッショナルシンポジウム後援
期 日：平成19年10月31日(水)～11月1日(木)
会 場：日本科学未来館
・座長にJMLAの会員を推薦する予定
- 5) 第9回図書館総合展 会 期：平成19年11月7日(水)～9日(金)
日本薬学図書館協議会との共催によるフォーラム開催
会 場：パシフィコ横浜
期 日：平成19年11月9日(金)予定
テーマ：未定
・5月に委員会を開催し、テーマや講師の検討を行う
- 6) 海外研修生募集
・平成19年3～4月海外研修者を募集
- 7) 研究助成
・平成19年6月研究助成の募集
- 8) 医学図書館員基礎研修会テキストの検討
・昨年度より引き続きテキスト作成を検討する

VI 雑誌

1. 年間目標
- 1) 日本薬学図書館協議会(JPLA)雑誌問題検討委員会と協力しコンソーシアムを推進する。
 - 2) コンソーシアム説明会を9月下旬に開催する。
 - 3) 他コンソーシアムとの協力を推進する。
 - 4) 分担購入のあり方について実情にあった見直しをする。
 - 5) 第78回総会において第4分科会を担当する。
 - 6) コンソーシアム交渉のための要員を補強する。

VII 出版

1. 年間目標
- 1) 「現行医学雑誌所在目録2008」の発行
・委員会を年2回開催し、「現行医学雑誌所在目録2008」は現在の割当て制度での販売を見直し、需要調査をする。
・冊子体で平成20年5月発行。
 - 2) 「米国国立医学図書館蔵書構築マニュアル翻訳版」の発行
・平成19年9月発行。
 - 3) 「医中誌Web マニュアル(仮題)」「統計について(仮題)」の出版を企画。
・上記委員会で検討する。
・執筆者等具体化すれば平成19年度中に発行。

VIII 機関誌「医学図書館」編集

1. 年間目標

- 1) 54 巻 2 号 平成 19 年 6 月発行
- 2) 54 巻 3 号 平成 19 年 9 月発行
- 3) 54 巻 4 号 平成 19 年 12 月発行
- 4) 55 巻 1 号 平成 20 年 3 月発行

・年 4 回の発行をめざす。

IX 認定資格制度

1. 年間計画

年 2 回(第 8 回平成 19 年 7 月、第 9 回平成 20 年 1 月)の認定審査作業を行なう。
認定資格規程の見直し作業を行い、次年度に向けた改訂案を提示する。

X 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の推進

1. 年間目標

1) 関連団体との連携協力

平成 19 年 6 月にワーキンググループを開催し、各団体でまとめたそれぞれの問題の解決の視点も含め、試作版のコンテンツ等を各団体で 3 段階（1. 必要か、2. 可能か、3. どのような情報・資料を扱うか）での評価をすり合わせて調整し、正式版としてポータルサイトを一般公開する。また、9 月には日本図書館協会や国立国会図書館、国立大学図書館協会などにも話し合いに加わってもらい、必要に応じて、代表者会議を開催する。

2) 「一般市民への保健医療情報の提供」シンポジウムの開催

関連する類似のセミナーや講演会の時期や場所等を勘案の上、本事業趣旨の広報を進めるために「一般市民への保健医療情報の提供」をテーマに、シンポジウムなどを開催する。(当年度内)

3) 必要な調査研究の実施

「国立ライフサイエンス情報センター（仮称）」設置推進へ向けて、必要な調査研究を随時行う。(当年度内)

4) 国の担当部局とのチャンネルづくり

9 月以降、国立国会図書館や国立大学図書館協会などと協議しながら、国の担当部局とのチャンネルづくりを進める。(当年度内)

なお、上記は「国立医学図書館（仮称）検討委員会『最終報告』」の「提言」（以下）にそって進めるものである。

- ①ライフサイエンス情報を扱う関係団体の代表者により構成される推進会議を設置する。
- ②推進会議の下にライフサイエンス情報に関わる問題毎の分科会を設置する。
- ③ライフサイエンス情報の蓄積・流通に関する一般向け公開シンポジウムを開催する。
- ④ライフサイエンス情報を扱うセンター館的機能のモデルを構築する。
- ⑤既存の関係団体を再編成し、新たなセンター館的機関の創設を国に働きかける。